

令和6年度 第2回視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火）
- 2 開催方法 書面開催
- 3 委 員 10名
- 4 議 事
 - (1) 視聴覚ライブラリー利用状況について（12月までの中間報告）
 - (2) 視聴覚ライブラリー事業実績について（12月までの中間報告）
 - (3) 利用者アンケート結果について
 - (4) 令和7年度視聴覚ライブラリー運営目標について

【主な意見】

- (1) 視聴覚ライブラリー利用状況について（12月までの中間報告）
 - ・スタジオは中高生の部活動など若年層の利用が増加している。
 - ・パソコン室は定期利用団体ほか、パソコン講座等を拡充し行っている。
 - ・教材制作室及び試写室の利用は大幅に減少している。

- | | |
|------|---|
| 御意見① | 利用人数が増えていることから、日々の広報やPRの成果が出ていると感じる。教材制作室の利用や視聴覚教材の貸出数が減っているので、現在の状況を分析し今後の活用について検討することが必要だと感じた。
スタジオの利用拡大については増加傾向で良好と考えるが、利用者が限定された利用である場合はPRの工夫及び対策を講じる必要があると思う。1～3月の照明装置の更新工事後にも更に利用が増えることを期待する。 |
| 御意見② | 学校現場では、学校行事のスリム化やICT機器の利用拡大等により、視聴覚機材の借用は減少していると実感する。今後も減少傾向にあると思う。 |
| 御意見③ | 小学生向けプログラミング講座については、子どもたちの世界を広げる一歩につながる良い講座だと思うのでぜひ周知をお願いしたい。
パソコン室の利用においてもパソコン講座やプログラミング講座等事業拡充を図っており、今後の利用促進に努めてほしい。また、教材制作室や試写室についてはPRに努めてほしい。 |
| 御意見④ | 教材制作室や試写室は、現在の一般的な動画製作の範囲では必要無いようになっているのではと感じる。別の活用が出来る環境があると良い。 |

(2) 視聴覚ライブラリー事業実績について（１２月までの中間報告）

- ・映画会の参加人数は２，２０４人。（前年度と同等の見込み）
- ・講座や研修等の参加人数は１５０人。（前年度と同等の見込み）

- 御意見① 教育現場による利用促進のため、宇都宮市教育センター研修担当との連携を図るなど、ライブラリーの良さを生かす工夫が必要であると思う。特に、教職員対象の研修内容を充実させるためのパソコン活用研修（ソフト・録音・編集）や教材制作のノウハウはライブラリーの専門性が発揮できるのではないかな。
- 御意見② 物価高騰の折、無償で教材が使えるのは大変ありがたい。時代に合ったコンテンツの更新とPRをお願いしたい。
- 御意見③ 映画会への参加やDVDやビデオテープの貸出事業は、利用人数を見ると市民ニーズがあると感じた。貸出事業数、利用人数はほぼ横ばい、名画鑑賞会の参加人数は前年割れになりそうである。これからも広報やPRをしていって欲しい。

(3) 利用者アンケート結果について

- ・９８％の利用者が、施設利用や職員の接遇に「満足」または「ほぼ満足」と回答。

- 御意見① 利便性の良さに加え、職員のおもてなしがアンケート結果や市民の満足度に繋がっていると思う。職員の日ごろの努力の成果と考えられる。
- 御意見② 利用者からの利用しやすいという評価は大切にしながらも、利用していない方の理由等への検討も進めること（把握に努めること）が必要だと思う。

(4) 令和７年度視聴覚ライブラリー運営目標について

- ・視聴覚教材の整備充実と利用促進
- ・公共施設予約システムの円滑な運営
- ・視聴覚設備・機材の整備と利用促進
- ・設備・機材を活用した学習機会提供の充実

- 御意見① 社会教育や学校教育の状況を捉えた運営目標となっていると思う。今後も、市民や学校などのニーズをとらえながら、施設のリニューアルや視聴覚教材の設備の充実などを検討してほしい。
- 御意見② 地域映像教材保存事業の強化・実績向上のために、学校や地域協議会等との連携が有効であると思う。収集された素材についてのデータベース化と利用の簡便さについても検討されるとよい。
- 御意見③ 地域映像教材保存事業を推進していただき、学校教育での利活用の促進が図れると良い。
- 御意見④ 地域の映像教材などの収集は、市の事業としても大切なことだ。縦割りではなく、関係各所に縦断的に協力体制を構築することが必要ではないかと思う。
- 御意見⑤ オンラインでの予約システムについては、使いやすさや利便性もよく検討して欲しい。